

平成21年度第3四半期連結決算概要

平成22年1月29日
東海旅客鉄道株式会社

- ・依然として厳しい経営環境が続く中、安全・安定輸送の確保を最優先に一層のサービスの充実を図ったが、当社単体の運輸収入は引き続き減収。連結営業収益全体でも減収。
- ・営業費については、当社の物件費及びグループ会社の仕入の減等があった一方、日本車輛製造株式会社（以下「日本車輛」という。）の連結の影響により、全体では微増。営業外損益は、支払利息の減少等により改善。
- ・この結果、減収・減益（営業利益、経常利益、四半期純利益）の決算。
- ・通期の業績予想については、前回予想を据え置く。引き続き業務執行全般にわたり効率化・低コスト化を徹底し、経営体力の充実を図る。

1. 連結損益の概要（累計）

(1) 営業収益（1兆1,056億円 前年同期比△816億円、6.9%減）

- ・当社単体の運輸収入は、前年同期比935億円（10.3%）減の8,106億円となった。
- ・東海道新幹線については、引き続きN700系車両の投入を積極的に進めるとともに、昨年3月に「のぞみ」のさらなるサービスの充実を図ったダイヤ改正により整備した列車体系を基に、利便性の高い輸送サービスの提供に努めた。加えて、「EX-ICサービス」について昨年8月に山陽新幹線までの利用区間拡大及び法人会員へのサービス開始を実施した。しかしながら、景気低迷等に加えて、昨年春の新型インフルエンザの影響もあり、運輸収入は前年同期比882億円（10.7%）減の7,353億円となった。
- ・在来線については、昨年3月に名古屋地区の都市圏輸送を中心としたダイヤ改正を実施したほか、本年3月に予定しているTOICAの電子マネー機能追加等に向けた準備を着実に進めた。しかしながら、運輸収入は前年同期比53億円（6.6%）減の752億円となった。
- ・鉄道以外の事業においては、既存事業の発展に向けた取り組みに努めるとともに、社宅跡地開発、農業事業への参入、名古屋駅新ビル計画といったプロジェクトを着実に進めた。グループ会社の営業収益は、流通業等の減収があったが、日本車輛連結の影響（462億円 前年同期比+310億円）により、前年同期比117億円（4.8%）増の2,565億円となった。

(2) 営業費（8,324億円 前年同期比+13億円、0.2%増）

- ・当社の物件費が130億円減少したことに加え、グループ会社における仕入の減等による費用の減少があった一方、N700系の投入などにより減価償却費が64億円増加したほか、日本車輛連結の影響（432億円 前年同期比+244億円）により、全体では微増。

(3) 営業利益（2,732億円 前年同期比△830億円、23.3%減）(4) 営業外損益（△1,015億円 前年同期比267億円改善）

- ・長期債務の縮減及び平均金利の低下に伴い支払利息が66億円減少したほか、新幹線債務の早期返済損や株式評価損の計上額が減少したことなどから、営業外損益は改善。
- ・なお長期債務残高は、前年度末に比べて193億円減少し3兆2,358億円となった。

(5) 経常利益（1,716億円 前年同期比△563億円、24.7%減）(6) 特別損益（△13億円 前年同期比+10億円）(7) 四半期純利益（1,015億円 前年同期比△315億円、23.7%減）

2. 平成21年度の業績予想

- ・通期の業績予想及び長期債務縮減見込額については、第3四半期連結累計期間の実績及び直近の輸送動向等を踏まえ、前回予想を据え置く。

輸送人キロおよび運輸収入の比較（第3四半期）

（単位 百万人キロ、億円）

			平成20年度 累 計	平成21年度 累 計	増 減	前期比 (%)	(参考)		
							平成21年度 10~12月	増 減	前期比 (%)
輸 送 人 キ ロ	新 幹 線	定 期	1,024	1,028	4	100.4	329	2	100.8
		定 期 外	34,528	31,171	△3,357	90.3	10,632	△1,029	91.2
		合 計	35,552	32,200	△3,352	90.6	10,962	△1,027	91.4
	在 来 線	定 期	4,179	4,176	△2	99.9	1,353	△3	99.8
		定 期 外	2,934	2,692	△243	91.7	874	△95	90.2
		合 計	7,113	6,868	△245	96.6	2,227	△98	95.8
	合 計	定 期	5,203	5,205	2	100.0	1,683	△1	100.0
		定 期 外	37,463	33,863	△3,599	90.4	11,506	△1,124	91.1
		合 計	42,665	39,068	△3,597	91.6	13,189	△1,125	92.1
	運 輸 収 入	新 幹 線	定 期	123	123	0	100.1	40	△0
定 期 外			8,111	7,229	△882	89.1	2,481	△273	90.1
合 計			8,235	7,353	△882	89.3	2,522	△273	90.2
在 来 線		定 期	260	258	△1	99.4	85	△0	99.0
		定 期 外	545	493	△51	90.5	160	△19	89.0
		合 計	805	752	△53	93.4	245	△20	92.2
合 計		定 期	384	382	△1	99.6	126	△0	99.2
		定 期 外	8,656	7,722	△933	89.2	2,641	△292	90.0
		合 計	9,041	8,105	△935	89.7	2,767	△293	90.4
合 計 (小荷物含む)		9,041	8,106	△935	89.7	2,767	△293	90.4	

- (注) 1. 当社単体に係る輸送人キロおよび運輸収入を記載
2. 輸送人キロは単位未満端数四捨五入
3. 運輸収入は単位未満端数切捨

比較第3四半期損益計算書【連結】

(単位 億円)

科 目	平成20年度 累 計	平成21年度 累 計	増 減	前期比 (%)	(参考) 平成21年度 10~12月	
					増 減	増 減
営 業 収 益	11,873	11,056	△ 816	93.1	3,750	△ 393
運 輸 業	9,460	8,521	△ 938	90.1	2,902	△ 301
流 通 業	1,442	1,322	△ 120	91.7	442	△ 43
不 動 産 業	315	309	△ 6	98.1	104	△ 2
そ の 他 の 事 業	654	902	248	137.9	300	△ 46
営 業 費	8,310	8,324	13	100.2	2,783	△ 212
営 業 利 益	3,562	2,732	△ 830	76.7	967	△ 180
営 業 外 損 益	△ 1,282	△ 1,015	267	79.1	△ 431	163
営 業 外 収 益	51	35	△ 16	68.5	14	△ 6
営 業 外 費 用	1,334	1,050	△ 283	78.7	445	△ 169
経 常 利 益	2,280	1,716	△ 563	75.3	535	△ 17
特 別 損 益	△ 23	△ 13	10	56.4	△ 3	5
特 別 利 益	50	58	7	115.5	7	△ 20
特 別 損 失	74	71	△ 2	96.9	10	△ 26
税 金 等 調 整 前 四 半 期 純 利 益	2,256	1,703	△ 553	75.5	532	△ 12
法 人 税 等	914	674	△ 239	73.8	205	△ 28
少 数 株 主 利 益	11	13	1	117.1	7	2
四 半 期 純 利 益	1,331	1,015	△ 315	76.3	318	13

(注) 1. 単位未満端数切捨

2. 営業収益の内訳は、セグメント別の外部顧客への売上高

セグメント別の営業損益

(単位 億円)

科 目	セグメント	平成20年度 累 計	平成21年度 累 計	増 減	前期比 (%)	(参考) 平成21年度 10~12月	
						増 減	増 減
営 業 収 益	運 輸 業	9,555	8,612	△ 942	90.1	2,932	△ 302
	流 通 業	1,503	1,385	△ 118	92.1	462	△ 45
	不 動 産 業	499	486	△ 12	97.5	164	△ 10
	そ の 他 の 事 業	1,270	1,689	419	133.0	610	△ 32
	消 去 又 は 全 社	△ 954	△ 1,118	△ 163	117.1	△ 419	△ 2
	計	11,873	11,056	△ 816	93.1	3,750	△ 393
営 業 利 益	運 輸 業	3,416	2,546	△ 869	74.5	884	△ 226
	流 通 業	49	26	△ 23	53.2	12	△ 5
	不 動 産 業	108	108	△ 0	99.9	37	1
	そ の 他 の 事 業	△ 8	57	65	—	32	43
	消 去 又 は 全 社	△ 3	△ 6	△ 3	178.3	0	6
	計	3,562	2,732	△ 830	76.7	967	△ 180

(注) 1. 単位未満端数切捨

2. 「消去又は全社」欄は、セグメント間取引の相殺消去等

比較第3四半期貸借対照表【連結】

(単位 億円)

科 目	平成20年度 期 末	平成21年度 第3四半期	増 減
流 動 資 産	2,272	2,788	516
固 定 資 産	49,953	49,513	△ 439
有 形 固 定 資 産	46,987	46,356	△ 631
無 形 固 定 資 産	124	148	24
投 資 そ の 他 の 資 産	2,841	3,008	167
資 産 合 計	52,225	52,302	76
流 動 負 債	6,848	6,020	△ 827
固 定 負 債	34,893	34,881	△ 11
負 債 合 計	41,741	40,902	△ 839
[うち 長 期 債 務]	32,551	32,358	△ 193
純 資 産 合 計	10,483	11,399	915
負 債 純 資 産 合 計	52,225	52,302	76

(注) 単位未満端数切捨

比較第3四半期キャッシュ・フロー計算書【連結】

(単位 億円)

科 目	平成20年度 累 計	平成21年度 累 計	増 減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,745	3,121	△ 623
税金等調整前四半期純利益	2,256	1,703	△ 553
減価償却費	1,879	1,944	65
その他	△ 391	△ 526	△ 135
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,289	△ 1,906	382
有形・無形固定資産の取得による支出	△ 2,103	△ 1,839	264
子会社株式の取得による支出	△ 166	—	166
その他	△ 19	△ 67	△ 48
[フリー・キャッシュ・フロー(営業+投資)]	[1,456]	[1,214]	[△ 241]
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 757	△ 716	40
社債発行・長期借入による収入	1,664	2,213	548
長期債務の返済による支出	△ 1,836	△ 2,406	△ 570
その他	△ 585	△ 523	62
現金及び現金同等物の増加額	699	498	△ 200
現金及び現金同等物の期首残高	346	555	209
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,045	1,053	8

(注) 単位未満端数切捨

比較第3四半期損益計算書【単体】

(単位 億円)

科 目	平成20年度 累 計	平成21年度 累 計	増 減	前期比 (%)	(参考) 平成21年度 10~12月	
					増	減
営 業 収 益	9,561	8,624	△ 937	90.2	2,937	△ 299
運 輸 収 入	9,041	8,106	△ 935	89.7	2,767	△ 293
そ の 他 の 収 入	519	518	△ 1	99.7	170	△ 5
営 業 費	6,121	6,050	△ 71	98.8	2,042	△ 75
人 件 費	1,312	1,308	△ 4	99.6	429	△ 7
物 件 費	2,821	2,690	△ 130	95.4	908	△ 78
租 税 公 課	238	240	2	101.0	80	1
減 価 償 却 費	1,749	1,810	61	103.5	624	9
営 業 利 益	3,439	2,574	△ 865	74.8	894	△ 224
営 業 外 損 益	△ 1,272	△ 998	274	78.4	△ 425	167
営 業 外 収 益	47	37	△ 9	79.5	15	0
営 業 外 費 用	1,320	1,036	△ 284	78.5	441	△ 166
経 常 利 益	2,166	1,575	△ 591	72.7	468	△ 56
特 別 損 益	△ 1	0	2	—	0	△ 2
特 別 利 益	47	51	3	107.9	4	△ 24
特 別 損 失	49	50	1	103.5	4	△ 21
税 引 前 四 半 期 純 利 益	2,165	1,576	△ 589	72.8	469	△ 59
法 人 税 等	856	613	△ 242	71.6	182	△ 26
四 半 期 純 利 益	1,309	962	△ 346	73.5	286	△ 32

(注) 単位未満端数切捨

長期債務の縮減見込額【連結・単体】

(単位 億円)

科 目	平成20年度 期 末 (実績)	平成21年度 第3四半期 (実績)	平成21年度 期 末 (見込)	年間縮減 見込額
長期債務残高(連結)	32,551	32,358	31,871	△ 680
長期債務残高(単体)	31,776	31,697	31,276	△ 500

(注) 1. 単位未満端数切捨

2. 長期債務縮減見込額は変更なし